

高市首相を選出 山口向印



衆院本会議で首相に選出され、一礼する自民党の高市総裁(21日)

高市氏は「全員活躍」「全世代総力結集」で政権を運営する方針を掲げる。総裁選で競った4候補は政調会長に就けた小林鷹之氏を含め、いずれも党三役か閣僚で処遇する。

連立を組む維新からの閣僚起用は見送る。閣外協力にとどめるものの、首相補佐官には維新的遠藤敬国会対策委員長を起用する。首相と維新的パイプ役を担う。

自民党の高市早苗総裁は21日午後の衆院本会議で第104代首相に指名された。女性の首相就任は初めて。皇居での首相親任式と閣僚認証式を経て同日夜

に高市内閣が発足する。自民党和日本維新の会による連立政権となる。

高市氏は内閣発足後に記者会見を開き、新政権の基本方針や

重点政策を説明する。物価高対策の財源の裏付けとなる2025年度補正予算案の編成を検討する。

新内閣の人事については、財

実経済安全保障相、黄川田仁志氏も入閣させる方針だ。松本洋平氏、平口洋氏、松本尚氏も閣僚で起用する。参院からは牧野京夫氏の閣僚登用が固まった。

新設閣僚として外国人政策を統括する担当相を置く。高市氏は党総裁選で外国人政策に関する「司令塔」機能の強化や法整備を訴えていた。

高市氏は「全員活躍」「全世代総力結集」で政権を運営する方針を掲げる。総裁選で競った4候補は政調会長に就けた小林鷹之氏を含め、いずれも党三役か閣僚で処遇する。

連立を組む維新からの閣僚起用は見送る。閣外協力にとどめるものの、首相補佐官には維新的遠藤敬国会対策委員長を起用する。首相と維新的パイプ役を担う。

自民・維新の連立政権

女性初、内閣発足へ

日本
経済
新聞

号外

ご購読・ご試読の
お申し込み

NIKKEI



0120-21-4946
(7:00~21:00)

<https://regist.nikkei.com/r123>

日経電子版

<https://www.nikkei.com/>